

令和2年10月  
秋号

Vol.13

# 響きあい

みんなの「生きる」を  
社会福祉法人



社会福祉法人カリヨン福祉会  
SDGs宣言

当法人は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、本法人に勤められる皆様と共に活動してまいります。SDGsの達成に向けて活動を行っていき、奉仕を推進します。

社会福祉法人カリヨン福祉会 理事長 遠藤 洋規

福祉による社会貢献

高齢者・障害者・孤独・貧困・地域課題の解決、地域社会の発展を通じて社会に貢献する活動を行ってまいります。  
（具体的な取組み） 高齢者のケア、高齢者福祉の推進、ボランティア活動の推進、福祉に関する啓発活動等

人権・雇用・人材育成

労働者保護、国際労働基準の遵守、平等の機会が得られる職場づくりを行ってまいります。福祉人材の確保と育成に向けて、人材開発の推進を図ります。福祉人材の確保と育成の推進を図ります。  
（具体的な取組み） 人材開発の推進、福祉人材の確保と育成の推進、人材開発の推進、福祉人材の確保と育成の推進

環境対策

人と環境に優しい社会をめざして、グリーンな施設運営を推進してまいります。3R活動の推進、環境対策の推進を図ります。  
（具体的な取組み） 3R活動の推進、環境対策の推進、環境対策の推進、環境対策の推進

カリヨンの郷 ×



老人福祉施設カリヨンの郷  
副施設長 内藤 吉弘



カリヨン福祉会の理念は、「カリヨン福祉会にかかわるすべての人が朗らかに過ごせる」こと。私たちはその理念に沿って、蟹江町の高齢者福祉を支えてきました。現在では、10の高齢者福祉事業と保育園を運営し、職員も200名ほどになりました。ご利用者、ご家族、関係者、職員などたくさんの方が関わらなれて、みんなが朗らかになるためには、お互いに尊重し助け合うことが必要だと考えています。

現在はコロナ禍の影響で外部の方が施設に入ることをご遠慮いただいておりますが、見学された方からはよく「雰囲気がいい施設ですね」（施設は築20年）とお言葉を頂きます。

私は、いい施設とは何かと質問された時に「施設の雰囲気がいいこと」と答えます。雰囲気とはその他やそこにいる人達が自然に作り出している気分であり、そこにいる人たちがその人らしく、自分を出しても安心できる環境だからこそ朗らかに過ごせるのだと思います。

「安心して生活できる」、「安心して預けられる」、「安心して働くことができる」、そんなカリヨンの郷をこれからも皆さんと一緒に作っていききたいので、これからもどうぞよろしくお願いします。

◆ ◆ ◆

追伸  
私が着ているのはカリヨンの郷オリジナルの制服で、デザインは設立当初から変わっておりません。白・青・赤の3色は「親子3世代」を表しています。

一人一人がかけがえのない存在として、助け合い生きていく普遍的な価値観を大事にしていきたいです。

